

【Orlanth】

説明

御身は風よ、御身は息吹、御身は宇宙の動きなり。変化が求められしそのところ、御身はそれを為し給う！人々が集まるそのところ、御身はそこにおわし給わん。吹く風、振る雨、それこそ御身！神々の父、世界の造り手。

解説

■神殿

嵐の神殿。大神。

■称号

“嵐の神”。光持ち帰りし者たちの支柱。発見の群の支柱。

■概略

ヒョルト人の信仰する嵐の神殿の主神。宇宙を動かす力とさえ言われ、その全貌を人間が理解することはできない。実際にはオーランスはいくつかの相とその下位カルトを通して信仰される。

オーランスは父ウーマスから原初の嵐の力を引き継いだ嵐の神である。ヒョルト人の始祖である。ヒョルト人男性の原型であり、同時にあるべき理想の姿である。ヒョルト人社会の創始者であり、法と秩序の源である。

■異界

組織

■週聖日

毎週、嵐の日。

■聖日

雷鳴の日（海の季）

ドラゴン・パスのヒョルト人たちにとって、大風を吹かせ春の雨をもたらすオホーランスの到来を祝う日。この日、オホーランスの大嵐が吹く。火の季のいつにヘラーが訪れるのか、神託を行う。前年の兄弟の日の神託によって日取りが確かめられる。

大雨の日（火の季）

慈雨を降らせ、穀物を実らせ、世界を浄化させるヘラーの到来を讃える日。この日、ヘラーの雨が降る。地の季のいつにヴィンガが訪れるのか、神託を行う。雷鳴の日の神託によって日取りが確かめられる。

防ぎの日（地の季）

風が凪ぐ地の季の終わりに、風の勢いを強めるヴィンガの到来を讃える日。この日、防ぎの嵐が吹く。闇の季のいつにヴァリンドとその信者が訪れるのか、神託を行う。大雨の日の信託によって日取りが確かめられる。

刈入れの日（地の季、移動の週、嵐の日）

オーランスカルルがこの日、穀物を刈入れるために農夫を率いやってくる。前日の日没後の夜、嵐の日の始まりから嵐の日の日没まで一日をかけて男たちはアーナールダに祈りを捧げる。

貢ぎの日（闇の季）

冬の本当の始まりの日。この日、積もった雪が初めて丸二日残る。冬の厳しさを和らげるようヴァリンドを鎮めるために、直接ヴァリンドを祟めないヒョルト人が供物を捧げる。嵐の季のいつに雷鳴の兄弟たちが訪れるのか、神託を行う。防ぎの日の神託によって日取りが確かめられる。

兄弟の日（嵐の季）

冬を払うために戦う様々な雷鳴の兄弟の到来を讃える日。この日、雪の後、初めて暖かな風が吹く。海の季のいつにオホーランスが訪れるのか、神託を行う。貢ぎの日の神託によって日取りが確かめられる。

■大聖日

剣の日（海の季、移動の週、風の日）

冒険者オーランスの大聖日。トゥーラを守り、来るべき略奪のために供物が捧げられる。この日、「オーランスの戦さ仕度」や幾多の戦いの再演が行われる。

法の杖の日（火の季、移動の週、風の日）

すべての父オーランスの大聖日。法を立てた者たちを讃える日。翌日、部族の集会が開かれるが、氏族をまたぐ問題を取り扱うため、供物が捧げられ「法の集会」が開かれることもある。

護りの日（闇の季、移動の週、風の日）

雷鳴轟かすオーランスの大聖日。オーランスが長い冬を終わらせた功績を称える日。ヒョルト人はこの日にありとあらゆる大気の存在を祟め奉り、供物に満足した神々は大雷鳴を鳴り響かせて、冷たい冬を追い払う。

合一の日（嵐の季、移動の週、風の日）

大いなるオーランスの大聖日。オーランスの誕生を祝う日。この日ヒョルト人は、主たる3つの「相」を合一した一柱の神として、戦士として敵と戦い、すべての父として食を湛え、春の訪れを雷鳴轟かし伝える神として祭りあげる。この日はアーナールダの聖日でもあり、夫婦はともにこの日を祝う。

■相

- ・一般的な相
 - ・すべての父オーランス
 - ・冒険者オーランス
 - ・雷鳴轟かすオーランス
- ・特別な相
 - ・ヴィンガ
 - ・オーランサナンドリン、“法の作り手”オーランス
 - ・オーランスドヴァー、“誠実なる”オーランス
 - ・神々の王オーランス
 - ・光持ち帰りし者オーランス

業績

- ・オーランス、アリンクスを苛める雄牛打ち据え、地を耕させる事

近親

■両親

父親はウーマス。

母親はケロ・フィン。

■兄弟姉妹

異母兄弟にコーラート、ウロックス、ヴェイドラス、フマクト、ラグナグラがいる。

異父兄弟姉妹にクイヴィン、“白き姫”イノーラ、“野の姫”ヴェルハラ、インキンがいる。

同父姉妹にブラスタロスがいる（ブラスタロスをコーラートの娘とする神話も存在する）。

■妻

アーナールダ。

■子

“冒険者”デストールをなす。

“野の貴婦人”ヴェルハラとの間に、“狩人”オーマライヤとオデイラをなす。

アーヴェナとの間にヘドコーランスをなす。

アーナールダとの間にバーンター、レダルダをなす。

アーナールダとの間にヴィンガをなす（オーランスの姉妹とする神話も存在する）。

アーナールダとの間にヴォーリアをなす（アーナールダとイエルムの子とする神話も存在する）。

アーナールダとの間にヴォーリオフをなす（オーランスとヘレーラの子、ないしはヘラーとアーナールダの子とする神話も存在する）。

デロラデラとの間に“闇に響く雷鳴”大音声をなす。

タレーナとの間に鷹雲（タレニング）をなす。

独り居のジャネーラとの間にヴィングコットをなす。

別名

- ・ 伊達男ヴェルダシュ【Dashing Verdash】
- ・ ヴァラノーランス、“野生の”オーランス
- ・ オーランサナンドリン
- ・ オーランスカルル
- ・ オーランスダール、“指導者”ダール
- ・ オーランスドヴァー
- ・ ドラゴン殺しオルヴァンシャゴール
- ・ オロルマーン、“牧夫”オーランス
- ・ タット
- ・ “盗賊”デセンボース
- ・ “スカールド”ドロガーシ
- ・ “恋人”ニスキス

神知者分類法

「風」「支配」「移動」「風」

参考

- ・ ウォーラス
- ・ オーランティオ 【Orlantio】

参考文献

・